Japan Geoscience Union Meeting 2013
(May 19-24 2013 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2013. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

HGG21-08 会場:203 時間:5 月 22 日 16:15-16:30

中国内モンゴルにおける農業生産の地域的展開と農牧民の対応行動
Regional Distribution of Agricultural Production and Behavior of Agro-pastoralists in Inner Mongolia, China

佐々木 達 [1*], 関根　良平 [2], 蘇徳斯琴 [3]
Toru Sasaki[1*], Ryohei Sekine[2], Sudesiqin[3]

[1] 札幌学院大学, [2] 東北大学, [3] 内蒙古大学
[1]Sapporo Gakuin Univ., [2]Tohoku Univ., [3]Inner Mongolia Univ.

中国内モンゴル自治区における農牧業については、食糧増産と国民への安定供給を目指した 1960 年代以降、環境調和的ではない農地開拓と農業生産が展開した。草原地域においては遊牧から定住化への転換が図られる中で、牧畜業において在来種の伝統的放牧から販売目的の商業的牧畜業が展開することによって過放牧を引き起こし、地域環境に過重な負荷をかけてきた。

さらに 1978 年の改革開放以降、農村部では人民公社が解体され、経営自主権を保障し、農民の生産意欲向上を目指す世帯生産請負制が実施されてきた。一方、都市部では外資の積極利用が奨励され、沿岸部あるいは東南部諸都市に経済特区や経済技術開発区が設置された。その過程で食糧生産の中核地帯であった沿岸部・東南部は、都市化や工業化の進展による農地改廃が進行し、従来から認識されてきた「南糧北調」から「北糧南調」へと農業生産の地域構造が大きく変化した。

1990 年代後半になると、農業生産の拠点となった北部とりわけ内モンゴル自治区では、沙漠化の進行によって「砂塵暴」などの災害が頻発し、環境問題が注目されるようになった。そのため、環境保全対策として植林や退耕還林還草、禁牧や生態移民などの政策が 2000 年代に入って次々と実施されてきた。他方、この間に自治区の経済は急速に成長し、総生産額の増加率でみれば 2002 年以降連続で全国 1 位を記録している。それを牽引するのが、石炭やレアメタルなどの地下鉱物資源と世帯生産請負制を起点とした農牧業の急速な発展である。

こうした農牧業の展開と同時に内モンゴルでは地域開発のラッシュともいうべき事態が進行している。その一つが，鉱山開発である。草原地域では石炭の露天掘り現場が多数見られ，採掘現場から長距離にわたって整備されているベルトコンベアーが採鉱工場へとつながっている。露天掘りの現場は，一面灰色でクレーターのような大きな穴が開いており，その周囲に大型のショベルカー，ダンプカーが作業をこなす大規模なものである。開発されている産炭地はもともと牧草地であったところを削り取って採掘している。開発対象となった牧草地は国が直接に保有者から買い上げており，その価格は牧畜業経営収入の何十倍である。

二つめは，不動産開発，とりわけマンション建設である。都市部では至る所に分譲マンションの広告が張り出されており，建設途中のマンションも含めて多数の高層建造物が立ち並んでいる。完成したマンションには入居している世帯も存在するが，多くは不動産投資としてマンションを購入している。マンションの購入は，居住する意味もあるが，建設ラッシュによって資産価値が上昇することを期待してとのことであるという。このことから不動産開発は都市住民や富裕層のみではなく，牧畜業を生業としている牧民までも投資主体として巻き込み始めている。

このように地域開発の進展は，牧民にとって生産手段である草原の資産価値を高め，住宅を不動産投資・運用の一手段に受け取られているという事態を生み出している。そのため，牧畜業が経営発展と持続的な生産活動を目的としたものではなく，資産形成のため，あるいは牧民から労働者へ転化するまでの就業になる可能性をも秘めている。したがって，今後の内蒙古における牧畜業の持続可能性を考えるにあたっては，環境保全や生態系バランス，農業農村政策，牧畜経営の収益性という観点のみならず，都市化を含めた地域開発が牧畜業をいかに変容をもたらしているのかという点についても注視する必要がある。

キーワード: 農業生産, 地域開発, 農牧民の対応行動, 自然資源, 中国内モンゴル自治区
Keywords: Agricultural Production, Regional Development, Behavior of Agro-pastoralists, Natural Resources, Inner Mongolia Autonomous Region